

第3回兵庫・大阪連携会議 議事録

日時：令和5年9月8日(金)

10:35～11:35

場所：国立民族学博物館

本館2階セミナー室5

1 開 会

<事務局>

- ・出席者名簿により紹介

2 開催県挨拶

<吉村大阪府知事>

- ・大阪府知事の吉村です。兵庫・大阪連携会議では、前は西宮に訪問させていただきました。ありがとうございました。
- ・そして、今回は、大阪が幹事ということで、齋藤知事、片山副知事、兵庫県の担当の皆様、ようこそ。大阪府の万博公園にお越しいただき、ありがとうございます。
- ・まず、会議に先立ち、先月の11日にオープンした「EXPO'70 パビリオン別館」を齋藤知事と視察をいたしました。
- ・この別館は、初代の太陽の塔の黄金の顔、岡本太郎さんがつくった黄金の顔を展示しています。
- ・実は、改修があり、今、太陽の塔にある黄金の顔というのは改修した後のものになります。初代のものを展示しようということで、この別館をつくって、展示しています。齋藤知事と共に間近で拝見しました。
- ・やっぱり見ると、すごいパワーを感じるなど。パワーとエネルギー、当時の1970年万博のパワー、エネルギーをすごく感じる。これを、ぜひ2025年大阪・関西万博にもつなげて、さらにその先の未来につなげていきたいと思えます。いよいよあと2年を切りました。
- ・万博も、兵庫・大阪連携会議に密接に関係していると思っております。
- ・例えば、空飛ぶクルマは、ぜひ万博で使える新しいモビリティとして活用しようじゃないかと、そういったことで実際動いています。兵庫・大阪を空飛ぶクルマでも万博会場につなげていこうという動きにもなってきています。
- ・兵庫・大阪連携会議も3年を迎えましたけれども、今年度から、両府県で新たに具体的な共同事業を立ち上げるなど、連携が本格化しています。
- ・産業振興、観光振興、さらにカーボンニュートラルについても、新しく連携項目として、プロジェクトチームを立ち上げたところです。
- ・2025年大阪・関西万博をターゲットイヤーに置いて、万博の成功のため、兵庫・大阪が一体となった事業で、関西全域を成長させてまいりたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

3 各分野における連携事業について

<両府県担当>

- ・資料1に基づき、①産業振興、②観光振興、③カーボンニュートラル分野、④各分野共通の各項目について説明

4 両知事意見交換

◆ 産業振興

<齋藤兵庫県知事>

- ・これまで2年間、兵庫の西宮市やHAT神戸で開催し、今回は、大阪ということで、万博公園に久しぶり来ました。先ほど、太陽の塔の初代の顔を見せていただきました。
- ・こういった万博のレガシーは、2025年の万博に向けた「つながり」を強く感じることができるので、ぜひ多くの皆さんに見ていただきたいと思っています。
- ・産業振興、観光振興、それからカーボンニュートラル、それぞれご説明いただきましたが、特に産業振興については、これから関西全体の成長のために、しっかり大阪府と兵庫県が連携してやっていくことが大事だと思っています。
- ・特に、空飛ぶクルマについては、兵庫・大阪連携会議の場で、ぜひ兵庫県もフェニックス埠頭を基軸にして、夢洲と結んで、二地点間のフライトをめざしていきたいということを発言しまして、その後、丸紅さんと調整し、実現に進みそうです。
- ・そういった意味では、この会議が一つの成果を生み出すきっかけになったということ。本当にありがたく、よかったですと思っています。
- ・兵庫県としては、やはりフェニックス埠頭、夢洲。阪神間の空飛ぶクルマのフライトについては、非常に実現可能性が高いですから、そこを基軸に。
- ・例えば、資料にもあるように、但馬エリア。日本海側には但馬空港がありますが、今でも、セスナ等で、個人等がフライトを楽しんでいます。そこで個人が空飛ぶクルマのフライトを楽しんでいただけるように、そんな大きな視点でやっていきたいです。
- ・あとは瀬戸内については、淡路、姫路、香川は、観光も含めてポテンシャルが高いところです。
- ・そのためにも、2025年大阪・関西万博のときには、2地点フライトの成功というのが大事です。9月末には、兵庫県尼崎市のフェニックス埠頭にポートが完成する予定です。それを一つの機運醸成にしていきたいと思います。
- ・もう一つ、産業振興の関係で、研究開発拠点。「ライフサイエンス」がこれから大事だと思います。中之島等、大阪でもこれからどんどん進んでいくと思います。
- ・特に、SPring-8が一つのキーになると考えています。これから令和10年度頃まで、SPring-8に、国がかなりテコ入れし、リニューアルしていく。5年以内にどんと投資していくようになり、そうすると、最先端の放射光施設での実験等、これは間違いなく増えてきます。
- ・ぜひ兵庫・大阪で連携して、共同利用ができるような形で、ネットワーク強化をしっかりやっていきたいと思っています。

<吉村大阪府知事>

- ・産業振興について、まず、この会議の大きな成果の一つでもあると思いますが、空飛ぶクルマが非常に重要です。先ほど、齋藤知事からもありましたが、(兵庫・大阪連携会議が)きっかけになって、空飛ぶクルマを尼崎エリアからも飛ばすことがかなり現実化してきており、ぜひ実現すべきだと思います。

- ・ 尼崎は、結局、万博会場まで3 kmしか離れていないのです。
- ・ そうなると、兵庫・大阪と、都道府県は違っても、海上から見たときに非常に近く便利なところにある。
- ・ そして、パークアンドライドも尼崎で行われると思いますので、そこで、空飛ぶクルマを使って、万博会場にひとつ飛びというか、一瞬でつながるといのは非常に有効だと僕は思っています。
- ・ 大阪・関西万博は、夢洲という海上人工島ですので、やはり海でつながるのは、すごく大切だと思っています。
- ・ そういった観点からも、万博会場の二地点間航空。もちろん大阪府内でいくと海遊館がある中央突堤、そしてUSJ、さらには大阪城東部地区、この三つを候補地として、準備を進めているところです。
- ・ 兵庫の尼崎フェニックスと万博会場を空飛ぶクルマでつなげれば、これは兵庫と大阪、万博会場が、つながることになります。
- ・ そして、さらには、瀬戸内ともつながればいいなと思っています。いきなりできるかはわかりませんが、少なくとも、万博が行われているときには、先ほど申し上げた4地点は、空飛ぶクルマでつながるといことに向けて、民間事業者の皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。
- ・ 今年度も、両府県共同で実証実験の実施をしていますので、着実に積み上げてきています。2025年の飛行に向けて、来年度も引き続き両府県が一緒になって、民間の取組みを支援していく仕組みを、ぜひお願いします。
- ・ それから、ライフサイエンスも非常に重要です。大阪府の取組みとして、来春、未来医療国際拠点中之島に開業します。
- ・ ここは、iPSの財団に入ってもらって、my iPS細胞というのを事業化しているという準備を進めています。
- ・ もともとは、大阪・兵庫・神戸は、非常にライフサイエンスが強い、ポテンシャルの高い分野でもありますし、万博のいのちというテーマと非常に合致すると思っています。
- ・ 世界に向けて発信していく、まさに兵庫・大阪が中心になって世界に向けて発信していく分野であると思っています。
- ・ 関西の医療拠点ですね、神戸の医療産業都市、中之島の未来医療国際拠点、そして健都と彩都、この連携はもちろんですけども、この4拠点一体となった情報発信を積極的に世界に向けて、国内外に向けて発信していくことが重要だと思いますので、よろしくお願いします。
- ・ そして、スタートアップについて。兵庫で開催されていた「スタートアップチャレンジ甲子園」について、我々も共同でさせていただきました。今回が、2回目になります。
- ・ 社会課題解決型スタートアップ、これは非常に重要です。
- ・ また、新たなまちを創造して成長につながるスタートアップを育成し、事業化につなげていくというのが非常に重要であると思っています。
- ・ 次年度以降は、万博の1年前になりますから、万博関連テーマについての募集を検討されると聞いているのですが、ポイントとすれば、そこで、より事業化につなげていくという視点。
- ・ そういった、生活や環境、健康医療等の具体的なテーマが設定されてくるかと思うのですが、スタートアップを育成していく、事業化につなげていくという視点も、ぜひ持っていただけたらと思っています。

<齋藤兵庫県知事>

- ・空飛ぶクルマについては、吉村知事も兵庫にもつながるとご発言いただき、そこから実現しました。
- ・万博期間中、尼崎のフェニックス用地に、パークアンドライド方式の会場外駐車場が設置されますので、その隣にポートをつくりたいなと思っています。
- ・できれば、近隣に、多目的広場をつくって。そこで、たとえばマルシェだとか、キッチンカーエリアとか、フェニックスに皆が少し滞在をして、万博に行った後に、ご飯を食べたり、遊んだりできるようにしたいと思います。それが、また、空飛ぶクルマの機運醸成にもつながると思っています。
- ・ライフサイエンスについてはこれからの連携が大事だと思っています。神戸は医療産業都市としてこれからもどんどん花開いていきますし、最先端の実証実験をしながら、社会実装をしていく。
- ・例えば、昨日、パソナさんがパピリオンの起工式をやっていましたが、そのテーマもライフサイエンスでした。例えば淡路市という一つの島の中で、医療のデータをとって、社会実装をやりながら、都市のデータと過疎地・多自然地域のデータをうまくミックスしていくのもおもしろいかなと思います。これからの連携にも広げていきたいと考えています。

◆ 観光振興

<吉村大阪府知事>

- ・海上交通は、万博後も見据えて可能性が高いものだと思います。まだまだ海上交通は、河川も含めて、水上交通が弱い。諸外国では、舟運観光に力を入れています。大阪・関西は弱いと思っています。
- ・ただ、ポテンシャルがあるのに力が発揮できていないというのが率直なところ。そのため、万博では、万博会場を起点としたベイエリアの海上交通に取り組んでいきたいと思っています。
- ・そういう思いもあって、例えば、大阪でいくと、万博の開催にあわせ、「中之島ゲート」を整備します。
- ・道頓堀や中之島は河川になるのですが、河川の川船と、海船は違う。その乗り換え地点が必要ですが、それが今ないということで、それ（中之島ゲート）をつくらうと。大阪市の中央卸売市場の南側に、中之島ゲートを整備しています。
- ・完成すると、海からそこで川船にチェンジするので、海と川がつながってくるようになります。
- ・そうすると、神戸市もそうですし、淡路島もそうですし、兵庫県から万博会場に行き、そして、万博会場から大阪市内の道頓堀の河川、大阪城などにつながってくる。湾全体のエリアの魅力が創出されると思います。
- ・なので、ここについては、まずは旅行会社やホテル等と連携して、宿泊とかクルージングとか、付加価値がついた海上交通。民間企業の皆さんを巻き込まないと。僕らはインフラを整備しますが、旅行事業者など、民間事業の皆さんがパッケージをつくってくれるのは非常に効果的だと思います。ぜひ海上交通について、インフラを完成し、お願いしたいと思います。
- ・そして、今、インバウンドが非常に回復してきています。関空では、国際線が70%まで回復をしました。おそらく、今後さらに回復してくる。コロナ

前を超えてくるだろうと思います。

- ・大阪・関西万博には、国内外から 2,800 万人の方が来られることになり、大阪・兵庫を周遊するというのが非常に重要だと思います。
- ・そうすると、海外からのお客さん、特に富裕層のお客さんが、どういうことを日本でしたいか。ここの分析が重要になります。
- ・今年度の事業検証を通じて、ぜひここを分析してもらいたいと思います。兵庫や大阪のどこに興味を持っていらっしゃるのか。この分析が次のパッケージにつながってくると思いますので、しっかりターゲットを定めて、「つかむ発信」、「ささる発信」を。単に観光地を宣伝しているだけではない、戦略的な取組みをぜひお願いをします。
- ・また、プロモーションですが、来年度は齋藤知事と一緒にトッププロモーションもぜひさせてもらいたいと思います。万博 1 年前の年で、万博の PR はもちろん、兵庫・大阪の魅力をどんどん発信していきたいと思います。
- ・観光振興 PT を中心に、そういった観点から、最も適した候補地を選んでもらえたらなと思います。
- ・あわせて、そこでは、企業の誘致とか、産業振興とか、あるいは農産物の発信等も行いたいと思いますので、産業局等と連携して、今後の方針の設定をよろしくお願ひします。
- ・まずは 11 月に東京で行うということですが、国際的な視線からの発信も重要だと思っていますので、お願ひします。

<齋藤兵庫県知事>

- ・海上交通については、これからキーになると思います。海上での万博は今回が初めてとなります。
- ・そういった意味でも、大阪、夢洲、神戸、淡路島等を結ぶルートについては、例えば神戸港と USJ とを結ぶことに挑戦したいとおっしゃっている事業者さんも出てきています。
- ・淡路島についても、夢舞台のところに港を県がつくってしまして、そこを拠点にいろんな海上交通のアイデアが出ていますから、ここが大阪・兵庫連携のキーになってくると思っています。
- ・それから、コンテンツという意味で、兵庫県はまだインバウンドがなかなか増えていない。増えつつはありますが、これからの課題です。大阪に（インバウンドが）戻りつつある中で、いい意味で一緒にインバウンドを増やし、全体が賑わえばいいかなと思います。
- ・阪神・淡路大震災から 30 年の年が 2025 年となります。教育ツーリズムという意味でも、震災の経験と教訓を知っていただくことも大事だと思っています。
- ・トッププロモーションについても、是非よろしくお願ひします。

◆ カーボンニュートラル

<齋藤兵庫県知事>

- ・カーボンニュートラル、脱炭素に向けた動きが大事になっています。具体的なものとして水素社会になりますが、CNP（カーボンニュートラルポート）の形成計画を兵庫県では姫路市を中心にしてやろうとしています。神戸市や瀬戸内を巻き込んだ形の、大きな流れにしていきたいと思っています。
- ・そういう意味では、FCトラックも大事なポイントですから、連携していき

たいと思います。

- そして海洋プラスチックごみも大事なポイントです。先日も淡路市にいきましたが、海岸に結構ごみがあって、そういったごみを少なくしていく取組みも大事だと考えています。
- 少し話題が違うかもしれませんが、CFP（カーボンフットプリント）にもつながる話です。明石市や岸和田市でいかなごの漁獲量が減っているという問題があります。これは温暖化の影響とかいろいろとありますが、そのあたり、これまでも水産関係部局が連携してやっていると思いますが、海の資源をどのように取り戻していくかという視点も、産業の観点から大事なものです。
- 兵庫県はわりと先導的にやっけていまして、漁船を使って海底をガリガリやって有機物を攪拌させたり、ため池の水を川に流して、海に有機物や窒素やリンを戻すといった取組みが、一定効果がでてきていると思います。それもあってか、今年のノリの生産量は日本一になっています。
- そういった取組みを大阪府とも共有させていただいて、泉南地域等での漁業の活性化について、官民連携でやっていくことが大事かと思っています。

<吉村大阪府知事>

- カーボンニュートラルについては、世界的な課題で、かつ新しい産業につながると考えています。地球環境は、世界で常に話題が出ていて、新しい技術や新しい産業分野が生まれている。また、経済と非常に関係している分野だと思います。
- カーボンフットプリントは、重要だと思っています。実際にカーボンニュートラルを実現しようとするれば、CO₂の排出は、大きな割合的にはほとんど企業です。だから企業の行動変容が大切になります。
- カーボンニュートラルがどうすれば実現できるかを考えると、いろんな指標を定めるのも大事ですが、最終のエンドユーザーである国民・府民・県民がカーボンニュートラルを進めていかないといけないとなれば、企業もそれに応じて必ず変わっていく。府県民の行動変容、もっと言うと広く国民ということになると思いますが、そこが大きな鍵になると思っていますし、重要だと思っています。
- カーボンフットプリントの見える化が進めば、例えば、農産物等のカーボンフットプリント等も、消費者にとっての選択の一つ、一助になりつつあると思っています。ぜひ、これを広げていくべきだと思います。
- 兵庫と大阪は人口を合わせると1,400万人ですから、東京都全体とほぼ同じです。また、関西全体の7割の人口を占めますので、兵庫と大阪がこの分野に一生懸命取り組めば、CO₂削減に向けた消費行動の変容につながってくる。見える化していないと府民・県民は選択できないので、カーボンフットプリントを共同で進めていきたいと思っています。
- 現時点においては、算定方法の表示方法の違いがあるということですが、最終的には、兵庫と大阪で、統一の算定や表示をめざしてもらいたいと思っています。共通でできれば、非常にわかりやすいと思います。
- カーボンフットプリントに関連する脱炭素ポイント事業は、大阪では昨年度からやっけていて、実は、兵庫を拠点としている事業者も参加していますので、ぜひ兵庫県にも検討いただきたいと思っています。
- そして、大阪ブルーオーシャンビジョンは、海洋プラごみに関して、大阪湾・

播磨灘が一体となった海洋プラごみ対策が重要だと思います。リーディングケースを検討してもらいたいと思います。兵庫や大阪から、さらに瀬戸内海を引っ張るようなリーディングモデルがつかれないか、検討をお願いしたいと思います。

- そして、齋藤知事からありましたように、豊かな海をつくっていくのは、重要なポイントだと思っています。大阪府で藻場の創出等もしていますが、兵庫県では進んでいるとの話もありましたので、そういった取組みも参考にしながら。同じ課題を抱えていると思いますから、豊かな海をつくっていく連携ができるか、ぜひとも議論をしてもらいたいと思います。

◆ 授業料等無償化制度

<齋藤兵庫県知事>

- 県立大学の授業料の無償化は、8月に発表しました。趣旨としては、今、3割以上の大学生達が奨学金を背負いながら学業に取り組んでいる。平均が310万円ということです。私自身も、親の家計が苦しかったこともあり、大学3年生頃からは奨学金で、大学を卒業しました。その返済にはそれなりのハードルがありました。
- 実際、これは子育て世帯への支援にもなるし、大学を卒業しようとする方々にとっても、これから奨学金を背負ったまま社会に出ることによって、結婚や出産・子育てといった将来設計に大きな影響が出ますから、そこを軽減させていきたい。
- 兵庫県は震災からの借金が2,000億円くらい残っていて厳しいのですが、ここはきちっとさせていただきたいということで舵を切りました。

<吉村大阪府知事>

- 大阪府でも、大阪公立大学を府民対象に完全無償化にする政策に舵を切ります。
- 教育は、非常にお金がかかる。とりわけ少子化でどんどん子ども数が減っていく中で、子育てそのものに非常にお金がかかります。そして、経済が伸びない、将来が不安、悪循環に陥っているのが日本の状況です。
- 子育てのお金で、一番かかるものは教育費です。将来がなかなか見通せず、教育もお金がかかるとなると、これからどんどん少子化が進むと思います。何より、生まれてきた子どもたち一人ひとりを見たときに、その家庭の状況がどういう状況であったとしても、頑張れば自分の道が開ける、頑張れば道があることを示していくのは、政治、行政の重要な役割だと思っています。
- また、学ぶことによって、その人自身の個性や能力は伸びると思っていますし、最後、社会全体にも返ってくる。教育は、そういう分野だと思っています。大学において自分の可能性を追求できる社会を、めざしていきたいという思いで、公立大学の無償化に舵を切った次第です。
- 本来、考えると、兵庫や大阪という県や府単位でやるべきことなのか。国でやるべき話だと思います。いきなり全部の大学は難しいかしれません。いろんな課題もある中で、全部というわけにはいかない。国公立大学であっても、非常にお金がかかります。年間授業料50万円ですから。先ほど齋藤知事もおっしゃったとおり、奨学金を借りている人も非常に多い。
- 国公立大学は、大学改革もちろん必要ですが、あわせて大学教育の無償化を、

ぜひ、国としてやるべきだと思います。114兆円も国家予算を組んでいるわけですから。仮に国公立大学全部を無償にすると、(予算が)いくらかかるというと、ざっくりとした計算で、だいたい0.4兆円。

- そう考えたときに、国があまりにも未来に投資していないと思います。世界を見渡したら、ドイツはいろいろな大学改革とともに、教育の無償化をしている。日本は教育にもっと投資をするべきだと思うし、全国でやるべきだと思います。
- もちろん、僕や齋藤知事のレベルでやると、どうしても、都道府県知事だから、府民・県民のみが対象になります。これは当たり前です。でも、よく考えたら、大阪の子どもが兵庫県立大学に通う場合も、兵庫の子どもが大阪公立大学に通う場合もある。もっと言えば、大学は全国から集まりますから。
- 高校は、府県が管轄し、小中は市町村が基本的に管轄。大学は国です。兵庫も大阪も、大学を持っているから、独自の無償化をしているのですが、国でやるべきことだと強く思っています。
- なので、兵庫と大阪の大学の無償化は、内容が近いこともあるので、国でやるべきだと兵庫と大阪が連携して、国に働きかけをしていくべきだと思います。そのあたり、兵庫県さんの意見を聞かせてもらえれば。

<齋藤兵庫県知事>

- 吉村知事のおっしゃるとおりで、国公立大学の無償化は国際的な潮流になっています。OECDに加盟している34カ国中、制度は様々詳細があると思いますが、14カ国が国公立大学の授業料の無償化を進めています。ドイツもそうですし、スウェーデンやノルウェーやフィンランド、アメリカでもニューヨーク州立大学など、かなり広がっています。
- そうした中で、県立大学、府立大学とはいえども、国公立大学全体で、国がきちっと高等教育の無償化の流れを作っていくべきだと強く思っています。
- 令和6年度の予算を国が詰めていきますので、国に対しての要望は是非やりたい。

<吉村大阪府知事>

- 兵庫・大阪で連携して国に要望していきましょう。齋藤知事がおっしゃった材料として、世界的にも必要なものだと。国に対してプレゼンする、説得をするような。今日は、兵庫と大阪の(授業料等無償化)制度の案内ですが、国全体で見たときに、これはやるべきではないかという資料を準備したい。

<齋藤兵庫県知事>

- 兵庫県で調べたところ、国際的なトレンドと併せて、若い世代の将来への負担がかなり強いというデータも出ています。先ほど申し上げた3割以上が奨学金を負っており、平均で310万です。それが結婚・出産・子育て、家の購入とか、奨学金があることで二の足を踏んでしまうとか、結婚するとき相手の親から奨学金があるのかと確認されるという、リアルな影響があります。
- これから少子化対策として、結婚や子育てをする世代を増やしていきたいなら、若い世代への支援をきちっとやっていく。これからの3年、5年が勝負だと言われていますが、結婚・出産をする若い世代に対してきちっと国が投資、応援をしていくべきであるということを、エビデンスをもって要望していくことが大事かなと思います。

<吉村大阪府知事>

- ・大臣だけでなく、国会議員にも要望をしたい。地方のレベルで無償化をやっていますが、よく考えたら国がやるべきで。全国に国公立大学がある。
- ・子どもが生まれたときに、教育にお金がかかり過ぎて心配だという環境自体がどうかと。経済が教育に影響するのは事実としてありますが、頑張れば、大学まで無償で行けるルートが全国にあるというのは、国として当たり前です。どんどん子どもが増える高度経済成長期は過ぎて、成熟期に入っている。

<齋藤兵庫県知事>

- ・子育て世代のお母さんたちから「県立大学が無償化になってよかった」と声があるとも聞きます。
- ・県民・府民の皆さんにとって、教育費の負担軽減はすごく嬉しい、必要とされていることを感じていますので、そこは国としてしっかり応援すべきだし、そのために（大阪府と）一緒にやっていきたい。

<事務局>

- ・時間もありますので、本日の会議については、これにて閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

5 閉 会

以上